



忍路

教育目標

かしこく
やさしく
たくましく

令和6年6月 日
忍路中央小学校
忍路中学校
学校だより3号



開校150周年記念運動会より

校長 本庄 有希子

6月1日（土）、晴天の中、開校150周年記念運動会が行われました。小樽市内で小学生と中学生と一緒に運動会をする学校は小中併置校である本校だけです。今年、忍路小中に着任した私は、小学生、中学生と一緒に競技を行うものと思っていました。しかし、紅白に分かれて勝敗を競う小学生、それとは別に中学生の競技がありました。中学生は小学生と一緒に勝敗を競うのではなく、頑張る小学生のサポートをする。これは昨年、中学生が自分たちで決めたことでした。

関東学院大学ラグビー部が大学で初優勝した時の話です。明治大学との決勝の2日前、東京は15cmの積雪に見舞われました。関東ラグビーフットボール協会は「新参者」である関東学院大学に雪かきの要請をします。当時関東学院には100名以上の部員が在籍し、4年間一度もレギュラーになれなかった4年生がたくさんいました。その選手達を中心になって国立競技場の雪を全部片づけたのです。補欠組のリーダーだった選手は雪かきが終わってからこう言ったそうです。「俺たち初めて（チームの）役に立ったなあ。」と。そのことを知ったレギュラーメンバーは「今日の試合は絶対に負けられない。優勝して140人全員を日本一の選手にしなくちゃ！」と発奮し、見事初優勝を遂げました。監督は最後に言いました。「うちは140人全員で戦った。相手は15人！ 負けるはずないじゃないですか！」

また、就職のシーズンになるとある高校には、「運動部でいい子がいませんか？」と企業からスカウトが来るそうです。「サッカー部のレギュラーでいい子がいますよ。」と監督が言うと、「いや、補欠の子はいませんか？ たとえ試合に出場できないとわかっているけども3年間ボールを拾い続けられる選手。そういう生徒は会社に入ってから頑張ってくれるんです。」と企業側は答えたそうです。一度もレギュラーにもなれない選手だからこそ、忍耐力、責任感が強くなるように思います。

運動会本番のために、毎日一生懸命練習をしてきた小学生、どうやったら小学生が頑張れるかと、会議を重ねサポートした中学生、そして地域・保護者の皆様の温かい声援とサポート。「子ども同士が協力し合い、励まし合う活動を大切にしながら、最後まであきらめない心や体力の育成」はまさに小中併置校だからこそ、本校の強みであり、素晴らしさであると感じることができました。



いじめアンケートについて

小中学生へ「4月以降、嫌な思いをしたことがあるか」についてのアンケートを実施したところ、児童、生徒それぞれから数件「嫌な思いをしたことがある」との回答を得ました。学校では児童生徒から事情を聞き、嫌な思いの解消に向けて取り組んでいます。今後は情報モラル教室や安全・安心を守るキャンペーンなど良好な人間関係を築く取り組みを実施し、いじめの未然防止等に努めます。

150周年記念 大運動会

6月1日(土)、日ごろの児童生徒たちの頑張りのおかげで、本当に素晴らしい晴天の中、忍路小中学校の運動会を実施することができました。今年度、小樽市立忍路中央小学校は150周年という記念すべき年を迎えており、運動会も「開校150周年運動会」と、記念事業の一環として開催しました。

小学生のテーマである「みんなで協力して 笑顔いっぱい 思い出に残る運動会にしよう！」

中学生のテーマである「協力して運動会を成功させ、小学生のあこがれになろう！」が、しっかりと実現できた素晴らしい運動会となりました。

今後も運動会の成果を生かしながら、忍路小中学校の教育活動を行います。



小学校 小樽公園遠足

6月14日(金)、小学生は小樽公園への遠足に行きました。まずは3つのグループに分かれて、オリエンテーリング。「小樽公園は昔何の施設であったか?」「迷路に書かれている動物の絵を3つ答えなさい」「公園にいるリスを探してください」など、6年生がリーダーとなってグループをまとめ、小樽公園に関わるクイズを解いていきました。

休憩の後、児童会が考えた助け鬼とジェスチャーゲームをし、最後に遊具で自由遊び。楽しい時間を過ごすことができました。



小中合同体力テスト

6月17日(月)、小中合同で、体力調査を行いました。反復横跳びや、握力、立位体前屈など昨年度の記録を超えることができるよう、それぞれの目標に取り組みました。

上の学年の取組をお手本として、あるいは身近な目標として見ることができ、全校の児童生徒が励まし合いながら運動に取り組むことができる本校は本当に素晴らしい環境にあると思います。

特にシャトルランでは先生方も総出で応援。温かい言葉、激励の言葉が体育館に飛び交っていました。



中学校 国際交流

6月12日(水)から1週間という短期間に、ロシアアンゼルス在住の中学1年生が本校に「仮入学」しました。日本語を上手に話すことができ日常のコミュニケーションも不自由はありませんでした。ロシアアンゼルスから「日本の学校で勉強したい、小規模校で学習したい」という意向で本校を選定してくれました。

休み時間等も子どもたち同士でコミュニケーションを取ることができ、日本で「良い思い出」をつくることのできたように思います。



150周年記念 潮祭り参加

7月27日(土)に小樽潮祭り恒例の潮ねりこみがあります。小樽市では例年各学校や小中学校合同でねりこみに参加しており、令和5年度は長橋中学校と合同で参加しました。

令和6年度の参加について呼びかけたところ、多くの児童生徒や保護者の方にご協力いただき、単独の梯団として参加することができます。7月9日

(火)には潮踊り講習会を実施する予定で、北海道新聞社の取材があります。多くの保護者や地域の方にもご参加いただき、祭りを盛り上げていきましょう。

周年事業 看板設置

市内の業者に依頼し、5月28日(火)に国道沿いに周年事業の看板を設置しましたので、保護者や地域の方もぜひご覧ください。記念式典は令和6年12月7日(土)に行いますので、たくさんの方のご参加をお待ちしています。

